

DATA：外科(血管外科)

- 腹部大動脈瘤ステントグラフト実施施設、浅大腿大動脈ステントグラフト実施施設
- 主な対象疾患：【血管疾患】腹部大動脈瘤、閉塞性動脈硬化症、動静脈血栓症、下肢静脈瘤など

全身の血管を診る

血管外科は、頭部および胸部以外のすべての血管を対象とする診療科です。常勤医2名を中心に大動脈瘤、動脈閉塞症、下肢静脈瘤、深部静脈血栓症などの疾患の治療を行っています。外来患者数は昨年4月から12月で約300名、うち6割が先生方からのご紹介でした。

当科の特徴は、外科という名称にもかかわらず、内科的治療を行うことも少なくないということが挙げられます。多くの疾患において、手術を行うより薬物療法や保存的治療を行う場合が多いのです。つまり全身の血管に対する総合的な治療を行う診療科といえます。

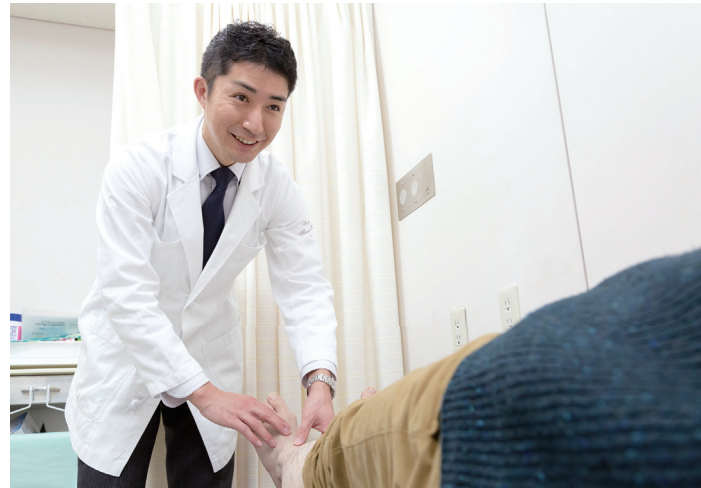
大動脈瘤には負担の少ない治療を

大動脈瘤を例に挙げると、胸部は心臓血管外科が担当し、腹部の症例は当科が主に担当します。腹部大動脈瘤のほとんどの症例で下肢の動脈からカテーテルを挿入して人工血管(ステントグラフト)を留置する、ステントグラフト内挿術を行っています。この方法は開腹手術に比べて低侵襲であり、



大動脈瘤から静脈血栓塞栓症対応まで

手術時間も短時間で済みます。よって、ほとんどの症例で退院は1週間以内です。当科は日本ステントグラフト実施基準管理委員会の実施基準の審査に合格した施設であり、治療後の経過も実施基準に基づいて定期的に報告しています。



閉塞性動脈硬化症は、骨盤内から下肢へと続く動脈が硬化、閉塞することによって生じる疾患です。代表的な症状として、ある距離を歩くとふくらはぎに凝りや痛みが生じ、しばらく休むと改善して再び歩けるようになる間欠性跛行があります。進行すると安静時でも疼痛があり、さらには壊死も起こり得ます。一方、無症候性の閉塞性動脈硬化症があることも知られています。とくに活動性の低い高齢者にみられ、その危険度は症状があるものと変わらないとされています。そのために慎重な診査・診断が求められます。

治療はバルーン拡張やステント留置などカテーテル治療を中心に、年間70件程度行っています。多くの場合では良好な経過をたどりますが、部位によっては再治療が必要になることもあり、定期的な検査が必要です。この疾患は動脈硬化症の一分症という位置づけで、他科との連携のもと心臓や頭部などの全身の血管の状態にも注意を払う必要があ

あらゆる血管に対応する専門外科

外科(血管外科)

ります。また、生活習慣の改善も予後に大きく影響します。

下肢静脈瘤に対しては、審美性も考慮されたレーザー焼灼術が一般的です。当院でレーザー焼灼術の日帰り手術が適応と診断された患者様は、当科の医師による施術を連携医療機関にて行うことができます。当院では、基礎疾患をお持ちの方の治療や、ストリッピング手術をすることが可能です。

血管に特化した視点で 様々な疾患の治療を支える

当科は、数少ない血管専門診療科として院内他科や近

隣医療施設との連携を重視しています。周術期の患者様は安静を求められるため、静脈血栓塞栓症を発症することがあります。その予防へのアドバイスも重要な役割のひとつです。院内にある肺血栓塞栓症予防検討委員会のメンバーとして、入院患者様の血管の状態を常にチェックしています。

このほかにも糖尿病内科や心臓血管外科などで下肢の動脈硬化症や塞栓症を疑われて紹介されてきた患者様や、皮膚科において静脈瘤を発見された患者様への対応など多くの診療科との連携のなかで治療を行っています。

患者様紹介について

開業の先生方とお話したときに、当科に紹介するのをためられることが多いと伺いました。私たちは手術件数を増やすことではなく、内科的処置も含め、先生方と密な関係のなかで患者様にとって必要な治療を進めていくことが重要だと考えています。したがって、血管の疾患が気になりましたら、気兼ねなく当科にご相談ください。また、氏名と症状などの必要事項を記載していただくだけで、先生方にご負担なく簡便にご紹介いただけるような手順も考えていきたいと思っています。当科は地域医療支援病院の専門科として、今後も地域医療の発展に貢献してまいります。

information

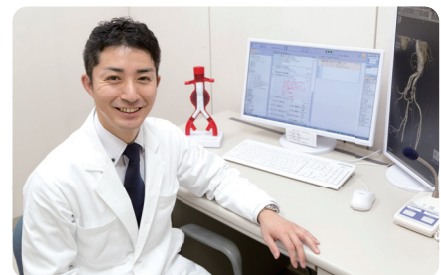
市川リレーションシップカンファレンスを開催します

地域のみなさまに安心して医療を受けていただくための体制構築に向けた、東京歯科大学市川総合病院と地域の先生方を結ぶ“市川リレーションシップカンファレンス”。紹介・逆紹介においてそれぞれの専門性を最大限に活かせるように、相互理解を目的としたカンファレンスです。

- ❖ 日程：平成30年5月14日(月)
- ❖ 時間：19:30～21:00
- ❖ 場所：東京歯科大学市川総合病院 角膜センター 3階会議室

- 「こんなにあるんだ！血管の病気～血管外科のReal World～」
小野 滋司(助教)

みなさまのご参加、お待ちしております。



血管外科
小野 滋司

医療機関の先生方へ

市川総合病院 診療情報提供書

検索

当院と地域の病院・診療所の先生方との間で、患者様のご紹介などを円滑に行えるように、「患者支援センター」を設置しています。ご不明な点がございましたら、下記へお尋ねください。

患者支援センター TEL 047-322-0151(内線2214) FAX 047-324-8539(直通)

開室時間 月曜日～金曜日：午前9時～午後5時 土曜日：午前9時～午後1時(第2土曜日は休診日)